

第63期中間報告書

2021年11月1日~2022年4月30日



代表取締役社長 中浜 勇治

株主の皆様には、格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

第63期第2四半期累計期間(2021年11月1日~2022年4月30日)の中間報告書をお届けいたしますので、ご高覧いただき、当社への一層のご理解を賜わりたいと存じます。

前期に主力の木材事業において通期営業黒字化を達成したものの、2021年春に顕在化したウッドショックが当期においても解消しておらず、木材の供給不足や価格高騰が継続する厳しい事業環境となりました。このような状況のもと、生産効率の改善や固定費の削減、「脱・梱包用材 新しいマーケットの開拓」といったスローガンのもと、最終年度を迎えた中期3ヵ年経営計画「チャレンジ110」の達成に全力を傾注してまいりました。

その結果、木材事業部の収益の大幅な改善により当第2四半期決算発表と同時に通期の業績予想を上方修正することができました。第2四半期累計の売上高は56億49百万円(前年同四半期比126.0%)、営業利益は3億62百万円(前年同四半期比464.3%)、経常利益は3億93百万円(前年同四半期比376.0%)、四半期純利益は2億69百万円(前年同四半期は四半期純損失6百万円)となりました。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

財務ハイライト(第63期第2四半期)

POINT 2 売上高は前年同四半期比+26.0%。木材事業が売上成長をけん引し、同事業の第2四半期累計期間として過去最高を達成。

POINT 3 木材事業の原木消化量の増加による単位当たりのコスト削減、製品への適正な価格転嫁などにより売上総利益(粗利)が前年同四半期比で301,369千円増加し、営業利益以下の各段階利益についても大幅に増加。







経常利益



2022年10月期(第63期) 通期業績予想

売上高 11,261,109 千円 前期比 +19.5% ◆

営業利益 619,745 千円 前期比 +169.9% ◆ 経常利益 637,773 千円 前期比 +167.6% ◆ 当期純利益 438,357千円 前期比 +368.4% ◆

期末配当予想につきましても1株当たり30円から10円増配の40円に上方修正しております。

■第2四半期の実績を踏まえ、2021年12月14日公表の通期業績予想及び配当予想を2022年6月14日にそれぞれ上方修正しております。

■木材事業

売上高 3,964,147 千円



ニュージーランド松及び国産杉を原材料とした梱包用材等の製造・販売、 全国から国産材(杉・桧・北海道カラ松等)を仕入れ、販売を行っています。

売上高 増収(+27.1%)

- ●製品出荷量は、主力の輸出向け梱 包関連は不振が続いているものの、 CLT材や建築用ラミナ材向けの供 給が好調に推移し、前年同四半期比 12.8%増加しました。
- 製品平均販売価格は、前年同四半 期比30.9%上昇しました。

営業利益 増益(+673.8%)

- ●原木消化量が前年同四半期比 11.3%増加するなど、生産性の向 上と原価低減に努めました。
- ●原材料コストの上昇分を価格転嫁 するなど、採算性の改善を図り、収 益性が大きく向上しました。

■ハウス・エコ事業

売上高 1.249.495 千円



プレハブハウスの製造・販売、仮設建物等のリース、一般建築及び太陽光 発電システムの請負を行っています。

- ●重量鉄鋼造建築による複数の大型 物件の受注を獲得しました。
- ▶引合いの状況は着実に増加している ものの、その多くが現状受注確定には 至っておりません。しかしながら、少し ずつ成果が表れ始めてきており、今後 に期待が持てる状況となっています。

営業利益 増益(+197.9%)

- ●増収による増益となりました。
- ●引き続き、工種毎の原価管理の徹 底を図りました。

売上高 206,069 千円 ■太陽光発電売電事業



広島県・山口県・愛知県の3県17ヶ所(合計出力規模約13MW)において、 太陽光発電システムで作られた電気を全量電力会社へ販売しています。

売上高 減収(▲4.1%)

- ●太陽光発電設備(メガソーラー) の一ヶ所について盗難が発生し、 売上高が若干減少しました。
- ※設備の損害は保険にて補償され ました。

営業利益 減益(▲1.2%)

●売上高は若干減少したものの、 減価償却負担が減少しました。

■ライフクリエイト事業 売上高 186.823 千円



山口県周南市において、ゴルフ場(中須ゴルフ倶楽部)と広島県福山市に おいて、フィットネスクラブ(スポパル緑町クラブ)の運営を行っています。

売上高 減収(▲1.6%)

- ●ゴルフ場部門は、来場者数は前 年同四半期比でほぼ横ばいで推 移しました。
- ●フィットネス部門は、引き続き新型コロ ナウイルス感染症の影響が大きく、新 規会員獲得に苦戦を強いられました。

営業利益 増益(+204.8%)

●水道光熱費の高騰があったもの の、修繕費等の減少により損益は 改善しました。

不動産事業

売上高 43.220 ∓円



広島県広島市及び福山市において、不動産の賃貸(4棟)を行っています。

売上高 減収(▲4.9%)

●約8割の稼働率を維持しておりま すが、マンスリータイプの稼働率 が低下しました。

営業利益 減益(▲11.0%)

●水道光熱費の高騰や定期的なメン テナンス工事の発生により、維持 コストが若干ながら増加しました。

木材事業 超大径材の受け入れ開始

国産杉丸太の集荷に注力

国産杉丸太の仕入れ径級の上限を撤廃し、大径化する 国産材事情に対応した仕入を開始いたしました。



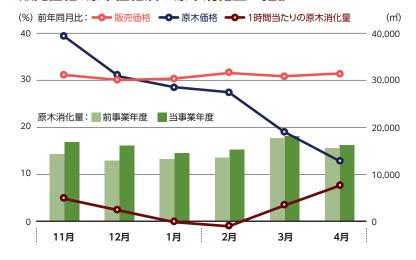
70cmを超える超大径木が生産できる福山工場の強みを生かし、使用用途の少ない大径材の仕分けが不要な受け入れ先として杉の集荷に注力してまいります。このことがその他の径級の集荷にもつながり、歩留まり率の向上に加えて、単位時間当たりの生産量の増加にも寄与する見通しです。

ハウス・エコ事業

引合い(見積書作成)状況

当第2四半期累計期間において、売上高及び営業利益は苦戦を強いられておりますが、前年同四半期比で引合い件数は7.9%、引合い金額は153.6%それぞれ増加しております。これらの引合いの中から、お客様へのフォローを強化し、受注獲得に向けて注力してまいります。また、ホームページの充実を図ることにより、アプローチの多様化とお客様への利便性の向上に努めました。

販売価格、原木価格及び原木消化量の推移



- ●ニュージーランド松及び国産杉の丸太(原材料)価格は、前年同四半期比25.7% 上昇しておりますが、販売価格は前年同四半期比30.9%上昇し、価格転嫁が順調に 進んでおります。
- ●福山工場の1時間当たりの生産量は更に向上し、原木消化量は前年同四半期比 11.3%増加するなど、フル操業を継続しております。





CHALLENGE 110

下期の事業環境と通期の見通し及び中期経営計画チャレンジ 110 の進捗状況

(単位:千円)	通期業績予想	2021年11月~2022年4月	進捗率		
売 上 高	11,261,109	5,649,756		50.2%	
営業利益	619,745	362,420		58.5%	
経常利益	637,773	393,541		61.7%	5
最終利益	438,357	269,064		61.4%	6
			0%	50%	100%

中期経営計画の最終年度、全社一丸となって目標の達成を目指します。

木材事業が堅調な見通しであることから、通期業績予想を上方修正いたしました。

木材事業につきましては、為替相場の急激な変動等に加えて、原木価格が上昇傾向にあるなど、先行き不透明な状況でありますが、製品価格及び出荷量が想定を上回る見通しであることから、一定の底堅い利益を確保できると考えております。

ハウス・エコ事業につきましては、引合いの増加など明るい材料もありますが、下期も苦戦が予想されます。 受注の確保を最優先課題とし、来期以降の案件も含めて積極的な提案型営業を展開してまいります。

ライフクリエイト事業のフィットネス部門は引き続き厳しい事業環境が続く見通しですが、ゴルフ場部門はコロナ禍においても3密を回避しながら運動不足を解消できるレジャーとして集客が好調に推移するものと考えております。

このように、下期の事業環境はロシア・ウクライナ情勢による地政学的リスク、サプライチェーンの混乱等がもたらす経済への下振れ懸念等により上期より厳しくなる見通しですが、中期経営計画最終年度目標の売上高及び各利益数値、ROE10%は達成の見通しとなりました。

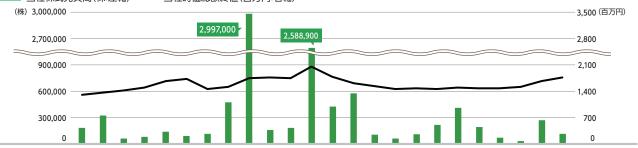


株価・時価総額・売買高の推移

日経平均株価終値(円:左軸) —— 当社株価終値(円:右軸)



■ 当社株式売買高(株:左軸) 当社時価総額終値(百万円:右軸)



20/6 20/7 20/8 20/9 20/10 20/11 20/12 21/1 21/2 21/3 21/4 21/5 21/6 21/7 21/8 21/9 21/10 21/11 21/12 22/1 22/2 22/3 22/4 20/5

※時価総額は、発行済株式の総数から自己株式を差し引いて算出しています。

会社概要 (2022年4月30日現在)

묵 商 設 <u>17</u>

金

資 本 従業員数 695,594,740円 189名

株式会社オービス

(外、平均臨時雇用者22名※1日8時間換算) 広島県福山市松永町六丁目10番1号

本社所在地 監査法人

有限責任 あずさ監査法人

昭和34年(1959年)11月



株式の状況 (2022年4月30日現在)

発行済株式の総数 1,753,818株



株主数 1,363名



大株主〈上位10位〉(2022年4月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)		
中浜 勇治	290,512	16.58		
(株) 和 幸	164,300	9.37		
中浜 勇	142,937	8.16		
㈱ SBI 証券	139,200	7.94		
鹿野産業㈱	56,900	3.25		
中村 剛	52,000	2.97		
大阪中小企業投資育成㈱	44,000	2.51		
山本 康司	33,300	1.90		
(株) SBI ネオトレード証券	28,700	1.64		
中山 恒一	28,100	1.60		

(注)持株比率は、自己株式1,213株を控除して計算しています。

役 員 (2022年6月14日現在)

代表取締役社長	中浜 勇治
専務取締役	梅田 孝史
常務取締役	谷本 泰
取締役	井上 清輝
取締役	土田 光典
取締役	川岡 公次
取締役(社外)	小山 幹夫
常勤監査役(社外)	松村 清治
監査役(社外)	長井紳一郎
監査役(社外)	近藤 哲英

ORVIS

株式会社オービス

T729-0104 広島県福山市松永町六丁目10番1号 TEL 084-934-2621 URL https://www.orvis.co.jp

株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで	
定時株主総会	毎年1月開催	
一単元の株式数	100株	
基準日	定時株主総会 毎年10月31日 期末配当 毎年10月31日 中間配当 毎年 4月30日	
公告の方法	電子公告とします。ただし、事故その他やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。 [公告掲載URL] https://www.orvis.co.jp/ir_advertising/	
上場証券取引所	東証スタンダード市場	
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関 (郵便物送付先) (電話照会先)	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号 みずほ信託銀行株式会社 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ○ 0120-288-324	

